「ミライノウミ　プロジェクト」

放射能汚染水の海洋放出に反対する

プロジェクトに賛同いただけませんか

私たちは原子力エネルギーに頼らず、再生可能エネルギーで生活する持続可能な社会の実現をめざしています。
〇原子力資料情報室（CNIC）　〇原水爆禁止日本国民会議（原水禁）　〇福島県平和フォーラム

東日本大震災・福島第一原発事故から 12 年。いまだに避難生活を強いられている住民が 27,000 人以上いるなかで、日本政府は再び原子力推進施策に舵を切りました。福島では、「ALPS 処理水」と政府・東京電力（東電）が呼ぶ汚染水の海洋放出が始められてしまいました。

政府・東電は「関係者の理解なしにはいかなる処分も行わない」と約束したことを反故にし、福島県漁連をはじめとする地元の反対があるにもかかわらず、「廃炉のためには仕方ない」と、さらなる負担を福島の人たちに課しています。政府・東電は汚染水を海洋放出しないと廃炉作業に支障が生じるとしていますが、とりあえずの土地確保でしかなく、廃炉の具体的道筋も描けない中でのその理由は、ごまかしでしかありません。韓国、中国をはじめ太平洋諸国からも海洋放出反対の声があがっています。

ともに放射能汚染水の海洋放出に反対しませんか。この活動に賛同いただける方は下記ホームページで賛同登録をお願いします。もしくは、下記メールアドレスにご連絡ください。よろしくお願いします。

ホームページ：https://mirainoumi.info/　　メールアドレス：contact@mirainoumi.info

ホームページの QR コード

汚染水海洋放出反対の宣伝物（短い動画やパンフレット等）作成のための、クラウドファンディングにご協力をお願いします！

クラウドファンディングの QR コード

クラウドファンディングのとりくみをお近くの方へ広げて頂けませんか。

拡散希望です！

【私たちの主張】

〇汚染水の海洋放出に反対します。
〇政府・東電が主張している安全性について反証します。
〇福島県漁連をはじめ、地元で反対している人がいることを知って、受け止めてください。
〇安易な海洋放出ではなく、タンクの増設等を検討するべきです。
〇原発事故により生じた放射性物質は二度と自然界に放出せず、封じ込めなくてはなりません。
〇放射能による健康被害について、補償すべきです。
〇キレイナウミをミライにまで残さなくてはなりません。

【具体的なとりくみ】
〇放射能汚染水の海洋放出に反対する署名を立ち上げ、できるだけ大規模でとりくめるようにします。
〇「ミライノウミ　プロジェクト」ホームページを立ち上げ、汚染水海洋放出反対の発信を行います。
〇賛同する団体や個人を募り、放射能汚染水海洋放出反対運動のプラットフォームをめざします。
〇ショートムービーを作成し、一方的な政府・東電のプロモーションだけではないことを訴えます。
〇汚染水の海洋放出を一刻も早く止める運動に継続的にとりくみます。
〇海外にむけてアピールできるよう、多言語での発信をおこないます。
〇「知ってほしい」「忘れないでほしい」「約束を守ってほしい」とする現地のみなさんと連帯したとりくみをおこないます。

【キャラクター】

製作者紹介：鈴木邦弘さん
プロフィール：イラストレーター、絵本作家。長岡造形大学卒業
第４、6 回 MOE イラスト本大賞入選。2015 年より福島県双葉郡の
取材をもとにイラストレーションや絵本の制作を行う。
原発事故によって取り残された犬の眼差しを通して、双葉郡を描いた絵本『いぬとふるさと』（旬報社）は全国学校図書館協議会選定図書に選ばれ、子どもたちに原発の爪痕を伝えている。
・汚染水を海洋放出すれば、影響は福島だけにとどまらず、世界に拡散します。「福島」という限定したイメージではなく、太平洋の「海」そのものをイメージさせる動物として、ウミガメを描きました。
・カメには長寿というイメージもあります。長寿であるカメが、長期間にわたって放射性物質を浴びる（摂取する）ことの影響にも思いを馳せてほしいです。
・親子を描くことで、未来の世代のことを考えてほしいと思いました。
・甲羅をカラフルにすることで、多様性を表現しました。
その多様性の象徴である甲羅を身にまとったカメは、寛容さを表現しています。